

令和8年2月3日（火）
令和7年度 第2回総合教育会議

佐伯市が進める ふるさと産業教育について

佐伯市教育委員会学校教育課

ふるさと産業教育

【児童・生徒】

「未来をえがくキャリア・ノート」で記録

コミュニティ協議会（地域）

連携

【受託事業者】
全体コーディネート

連携

佐伯市

学校（校区コーディネーター）

実施

【産業教育】

→担い手不足解消
商工振興課
（受託事業者）
高学年
中学校

産業を知る

【ふるさと教育】

→郷土愛の醸成
学校教育課
低学年

まちの探検

学校を知る

佐伯市の現状 = 抱えている課題

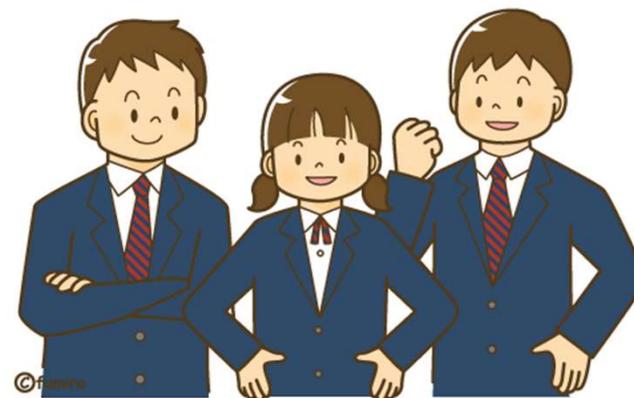
平成17年5月1日

- ・市人口：80,297人
- ・小学校：4,352人
- ・中学校：2,306人



平成29年5月1日

- ・市人口：73,437人
- ・小学校：3,219人
- ・中学校：1,743人



児童生徒
年平均141人の減 子育て人口の
減少

学校が佐伯市の
課題克服に果たす
べき役割は？

課題解決に向けて

- ・ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校での
付きたい力の系統を明らかにする。
- ・ 小・中・高が互いに連携を意識し、自校の
カリキュラムを明らかにする。
- ・ 各校種ごとに連携を深める。

資質・能力系統表をベースにした
幼・小・中・高における
13年間の実践

ふるさとを愛し
ふるさとの未来を創造する力

- ・ 郷土を愛し、誇りをもって自らの夢の
実現に邁進する人材
- ・ 地域の人々と支え合い、協働しながら佐伯市
の未来を切り開く資質と能力をそなえた人材

13年間を見通した、幼児教育・生活科・総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表

佐伯市教育委員会
学校を核とした「ふるさと創生プラン」作成会議

「ふるさと創生事業」で目指す姿		ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創造する力						
校種		幼稚園	小学校		中学校	高等学校		
段階		ふるさとである	ふるさとにふれる	ふるさとを感じて・知る	ふるさとについて考え・伝える	ふるさととともに未来を描く	ふるさとに向けて行動に生かす	
視点		資質・能力が身についた園児・児童・生徒の姿						
何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・技能」の習得)	知識・技能	○ふるさとのもの・人やそれらに対する思い・願いを理解している。 ○探究の過程に応じた技能を身につけている。	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。「知識及び技能の基礎」	ふるさとは何かがあるか、それがどのような関係にあるか気付く。自分自身の成長に気付く。活動や体験を通して、習慣で技能を身につけている。	ふるさとは何かがあるか、その特徴がわかる。情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとで暮らす人々やその土地の良さがわかる。情報を比較・分類・関連づけなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとと社会との関わりがわかる。情報を比較・分類・関連づけ・多面的にみるなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとと自分との関わりがわかる。情報を比較・分類・関連づけ・多面的・構造化するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。
	理解していること・できることをどう使うか (未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)	課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現 ふり返り	○物事を多面的に見たり考えたりして、課題を設定し追究している。 ○多様な着眼点から情報を収集している。 ○自分の考えを、経験や知識と結びつけて分類・整理するなどして情報を扱っている。 ○目的や意図に応じて、効果的に自分の考えをまとめ、表現している。 ○探究の過程をふり返り、自己の学びを深めている。	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 気分いいことや、できるようになったことなどを思い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。「思考力、判断力、表現力等の基礎」 心積、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」	ふるさとに関心を持っている。身体全体でふるさとと関わっている。すなわちふるさとに働きかけている。 比較したり分類したりして対象を捉えている。違いに気付いたり良さを生かしたりして他者と関わり合い、試したり予測したりして創造している。 まとめたものを相手に伝えたり、交流したりして、表現している。 活動や体験をふり返り、生活に生かそうとしている。	自分の関心からふるさとについての課題を設定し、解決方法を考え、追究している。 教師の支援により手段を選択し、情報を収集している。 問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。 相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。	ふるさとの思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。 自分なりの手段を選択し、情報を収集している。 問題状況における事実や関係を、整理した情報を関連づけて理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。 相手や目的、意図に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。	ふるさとと社会との関わりを考えて課題を設定し、仮説を立てて検証方法を考え、追究している。 目的に応じて手段を選択し、情報を収集している。 複雑な問題状況における事実や関係を、事象を比較したり因果関係を推論したりして理解し、視点や目的を定めて多様な情報を分析している。 相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 学習の仕方や進め方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)	主体性	○より高い目標を立て、努力しようとしている。		課題の解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている。	課題の解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている。	課題に挑戦し向き合い、解決に向けて探究活動に取り組もうとしている。	課題に真摯に向き合い、より適切な解決に向けて探究活動に取り組もうとしている。	
	自己理解	○自分の長所や短所を理解し、自己の生き方を考えている。		自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとしている。	自分のよさや自分の得意ことに気づき、課題解決に向けて取り組んでいる。	自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組んでいる。	自分の特徴を生かし当事者意識を持って探究活動に向き合い、計画性・着実に探究活動に取り組んでいる。	
	内面化	○経験したことを自分に生かし、次の課題に取り組もうとしている。		探究的な課題解決の楽しさや味わい、次の課題に取り組もうとしている。	探究的な課題解決の経験や自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとしている。	探究的な課題解決の経験や自信を自己の成長と結びつけ、次の課題へ積極的に取り組もうとしている。	探究的な課題解決の経験や自信を自己肯定へとつなげ、さらに高次の課題に取り組もうとしている。	
	協同性(協働性)	○課題解決に向けて、他者と力を合わせて考え、実行しようとしている。		身近な人々やふるさとに関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとしている。	課題解決に向けて、身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、互いを認め特徴を生かし合い、協同的に探究活動に取り組んでいる。
	他者理解	○自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとしている。		自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとしている。	自分と異なる意見や考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に向き合い、互いを理解しようとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとしている。
地域貢献	○伝統・文化の継承、ふるさと・社会との繋がりがりや発展について考えている。		自分とふるさととのつながりに気づき、ふるさとの活動に参加しようとしている。	自分とふるさととのつながりに気づき、ふるさとの活動に参加しようとしている。	自分とふるさととのつながりを考えながら、進んでふるさとの活動に参加しようとしている。	ふるさとと自分・社会とのつながりを考えながら、積極的にふるさとの活動に参加しようとしている。	ふるさとと自分とのあり方を考えながら、よりよい社会の実現に向けて活動に参加しようとしている。	

佐伯市の現状 = 抱えている課題

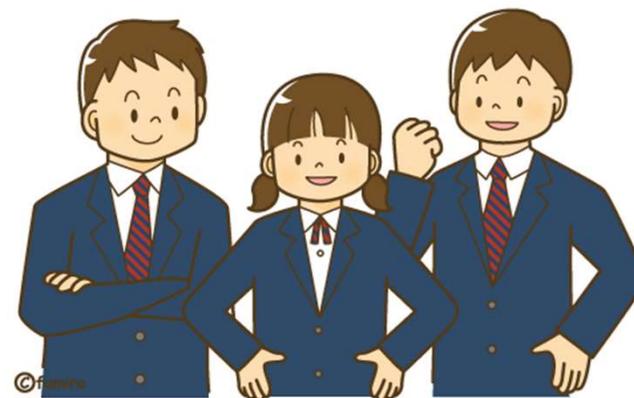
平成27年4月末

- ・市人口：75,547人
- ・小学校：3,423人
- ・中学校：1,820人



令和7年4月末

- ・市人口：63,769人
- ・小学校：2,522人
- ・中学校：1,501人



児童生徒
年平均122人の減

学校が佐伯市の
課題克服に果たす
べき役割は？

13年間を見通した、幼児教育・生活科・総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表

佐伯市教育委員会
学校を核とした「ふるさと創生プラン」作成会議

「ふるさと創生事業」で目指す姿		ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創造する力					
校種		幼稚園	小学校			中学校	高等学校
段階		ふるさとであそぶ	ふるさとにふれる	ふるさとを感じて・知る	ふるさとについて考え・伝える	ふるさととともに未来を描く	ふるさとに向けて行動に生かす
視点		資質・能力が身についた園児・児童・生徒の姿					
何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」）	知識・技能	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	ふるさとは何があるか、それがどのような関係にあるか気付く。自分自身の成長に気付く。活動の体験を通して、環境を共有する。	ふるさとは何があるか、その特徴がわかる。情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとで暮らす人々やその土地の良さがわかる。情報を比較・分類・関連づけ、多面的にみるなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとと社会との関わりがわかる。情報を比較・分類・関連づけ、多面的にみるなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。	ふるさとと自分の関わりがわかる。情報を比較・分類・関連づけ、多面的に精進化するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている。
理解していることができるかどうか（未知の状況に応じ、判断力・表現力の育成）	知識・技能						
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）	態度・規範	自分の良所や短所を理解し、自己の生き方を考えている。	自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとしている。	自分のよさや自分のできることに気付き、課題解決に向けて取り組んでいる。探究的な課題解決の楽しさを味わい、次の課題に取り組もうとしている。	自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組んでいる。	自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって探究活動に取り組んでいる。	自分の特徴を生かし当事者意識を持って探究活動に向き合い、計画的に着実に探究活動に取り組んでいる。
	態度・規範	経験したことを自分に生かし、次の課題に取り組もうとしている。	心構え、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」	課題解決に向けて、身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、互いの特徴を生かして協働的に探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、互いを認め特徴を生かし合い、協働的に探究活動に取り組んでいる。
	態度・規範	自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶようとしている。	身近な人々やふるさとに関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとしている。身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとしている。	自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に向き合い、互いを理解しようとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとしている。
	態度・規範	伝統・文化の継承、ふるさと・社会との繋がりを発展について考えている。		自分とふるさととのつながりに気づき、ふるさとの活動に参加しようとしている。	自分とふるさとのかかわりを考えながら、進んでふるさとの活動に参加しようとしている。	ふるさとと自分・社会とのかかわりを考えながら、積極的にふるさとの活動に参加しようとしている。	ふるさとと自分のあり方を考えながら、よりよい社会の実現に向けて活動に参加しようとしている。

学びの段階と園児・児童・生徒の発達の段階（学年）

幼稚園：「ふるさとであそぶ」
小学校（1, 2年）：「ふるさとにふれる」
小学校（3, 4年）：「ふるさとを感じて・知る」
小学校（5, 6年）：「ふるさとについて考え・伝える」
中学校（1, 2, 3年）：「ふるさととともに未来を描く」
高等学校（1, 2, 3年）：「ふるさとに向けて行動に生かす」

<令和7年度学校教育指導方針>

令和7年度 学校教育指導方針
—「人が学び、人が活き、人が育つ持続可能な教育」の創造—

生涯学習の理念の下で「生きる力」の育成に向けた学校教育の充実と進展を図るため、「第2次佐伯市総合計画」、第2期佐伯市長期総合教育計画（後期）「さいき“まなび”プラン2023」及び「令和7年度大分県教育委員会の重点方針」を踏まえ、本年度の重点及び具体的取組を次のように定めます。

1 重点目標

これからの「オーガニックシティさいき」を支える人づくり
～ふるさと佐伯を愛し、ユニバーサルな視野に立つ人材の育成～

2 本年度の重点

<p>重点施策1 子どもが授業に夢中になり、自ら学び共に学び笑を自覚し、授業づくり・授業改善に生き生きと取り組む教師・学校の実現</p> <p>基本目標Ⅰ 豊かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想に基づいた授業改善の推進 ○学びたことを定着・習熟につなぐ指導と家庭学習の運動の充実 	<p>重点施策2 子どもの居場所づくりの推進</p> <p>基本目標Ⅱ 信頼と協働による学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の学校内外における居場所づくりの推進 ○自己肯定感を高める取組の充実 ○自己肯定感を高める授業づくり ○自己肯定感を高める学級集団づくり ○コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育の推進 	<p>重点施策3 地域の特性に応じた教育による少子化への対応</p> <p>基本目標Ⅲ 豊かな教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「カリキュラム表」を活用した、教科横断的な視点等に立ったカリキュラム・マネジメントの実践 ○副読本を活用したふるさと教育の充実
--	--	--

3 目指す子ども像

○自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる子ども
○自他を大切にし、力を合わせて活動する子ども

4 具体的取組

<p>基本目標Ⅰ 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進</p> <p>施策1 豊かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着及び読解力、読書力を育成する学力向上対策の推進 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ○家庭と協働した家庭学習の充実 <p>施策2 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間で考え、実践する授業の実践 ○モデル校を中心にした実践的手法を取り入れた授業実践と本物の芸術等に触れる場の提供 ○児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進 <p>施策3 健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐伯市や各校の課外活動に活用して作成した「体力向上プラン」に基づく「一校一実習」の取組の充実 ○コーディネーショントレーニングの活用推進 ○「運動着指導」「食に関する指導」「フット物の活用」の3本柱による運動の推進・充実 ○選手・練習生活と食習慣の形成を図る食育の推進 <p>施策4 特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「佐伯市子ども特別支援ネットワーク」による個別支援体制の充実 ○「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・活用による適切な支援・指導の充実 ○合理的配慮に基づく環境整備とインクルーシブ教育の推進 <p>施策5 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制の充実 ○校内教育委員会・児童発達センター・フリースクールとの連携による不登校対策の充実 ○「人間関係づくりプログラム」の継続的な実施による相互理解の促進 ○いじめアンケートや個別相談等の実施によるいじめや生徒間トラブル等の早期発見・組織的対応の徹底 ○Chyper-GUI 調査等を活用した学級経営・教科授業の検証・改善サイクルの充実 <p>施策6 幼児教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐伯市幼児小連携協議会による幼稚園・保育所・認定こども園及び小学校との連携の推進 ○幼児教育アドバイザーの派遣による幼稚園教員の研修の充実 ○「佐伯市受け継ぐカリキュラム」の作成 <p>施策7 教育の国際化・情報化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中を連携させた英語読書の推進と中学生の英語検定受験促進 ○授業の質向上に向けたA1 英語教育アプリの利活用 ○ICT機器を日常的かつ効果的に活用する授業づくりの推進 ○家庭と連携した情報リテラシー教育の推進 	<p>基本目標Ⅱ 信頼と協働による学校づくりの推進</p> <p>施策1 豊かな教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びなおし授業」等を生かした義務教育9年間を見通した系統的な教育の充実 ○休日の多活動の地域移行の推進（令和7年度末目標） <p>施策2 教職員の意識改革と資質・能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度「志の通った学校組織」取組方針に基づく取組の推進・充実 ○佐伯市学力向上実践研究事業に係る研究指定校との連携による組織的な教研の推進 ○佐伯市学校教育研究会との連携による教職員の資質・能力の向上 ○経験豊富な若い教員とヤングリーダーの育成に向けた、組織的な研修の実施 <p>施策3 地域とともにある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の課外活動に向けた実践の実施による、コミュニティ・スクールの取組の推進（地域学校協働活動と一体的推進） ○学校ホームページの月1回以上の更新等による積極的な情報発信 ○学校評議会を主とした教育活動の改善・充実 <p>施策4 安全・安心な学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え行動し、自他の命を守る実践的な防災・減災教育の推進 ○学校安全計画及び危機管理マニュアルの継続的な見直しと地域と連携した防災訓練の推進 ○安全・安心、快適な教育環境の整備推進
---	--

基本目標Ⅳ 人権を尊重するまちづくりの推進

施策1 学校における人権教育の推進

- 「部活動理解の推進に関する学校教育指導方針」（県・市）に基づく保護者・地域と連携した取組の推進
- 人権に関する諸課題に関する教材を生かした授業づくり
- 一人一人が自己有用性を高める活動の実践による、交流のい、確かな仲間づくりの推進

教育 DX の推進

- 1人1台端末の活用による児童生徒の主体的学習の充実
- 連携学習システムを活用した多様な学びの機会の充実
- 1人1台端末の持ち帰りによる家庭学習への活用促進
- 校務支援システムを活用した校務効率化の推進

第2次佐伯市総合計画



第2期佐伯市長期総合教育計画 「さいき“まなび”プラン2023」

「令和6年度大分県教育委員会」重点方針



令和7年度学校教育指導方針

<令和7年度学校教育指導方針>

<「さいき“まなび”プラン2023」計画の全体目標>
「人が学び、人が生き、人が育つ持続可能な教育」の創造

<重点目標>

これからの「オーガニックシティさいき」を支える人づくり
～ふるさと佐伯を愛し、ユニバーサルな視野に立つ人材の育成～

重点施策1

子どもが授業に夢中になり、自ら学び共に学ぶ姿を目指し、授業づくり・授業改善に生き生きと取り組む教師・学校の実現
基本目標Ⅰ－基本施策1
確かな学力の育成
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた単元構想に基づく授業改善の推進
○学んだことを定着・習熟につなぐ指導と家庭学習の連動の充実

重点施策2

子どもの居場所づくりの推進
基本目標Ⅰ－施策5
生徒指導の充実
○児童生徒の学校内外における居場所づくりの推進
○自己肯定感を高める取組の充実
*自己肯定感を高める授業づくり
*自己存在感を実感できる学級集団づくり
○コミュニケーション力と人間性を育成する表現教育の推進

重点施策7

地域の特性に応じた教育による少子化への対応
基本目標Ⅱ－施策1
豊かな教育環境の整備
○『カリキュラム表』を活用した、教科横断的な視点等に立ったカリキュラム・マネジメントの実践
○副読本を活用したふるさと教育の充実

- 自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる子ども
- 自他を大切にし、力を合わせて活動する子ども

豊かな教育環境の整備

○『カリキュラム表』を活用した、教科横断的な視点等に立ったカリキュラム・マネジメントの実践

<カリキュラム表>

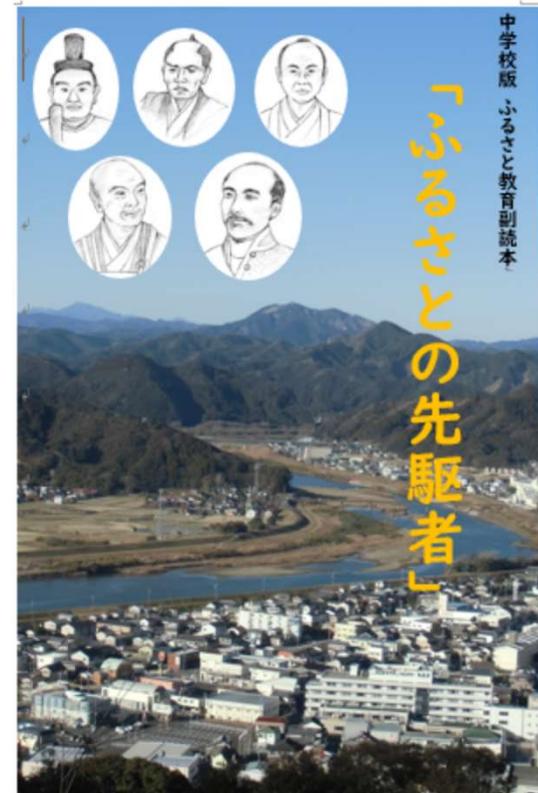
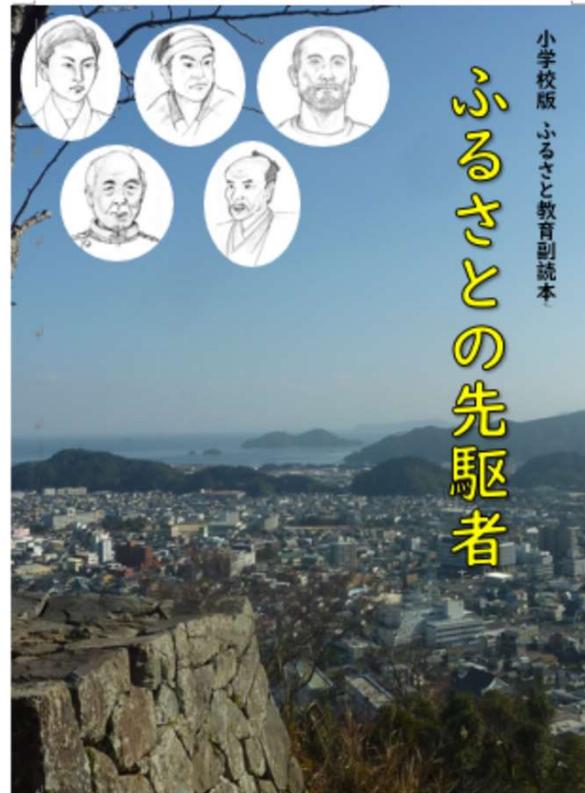
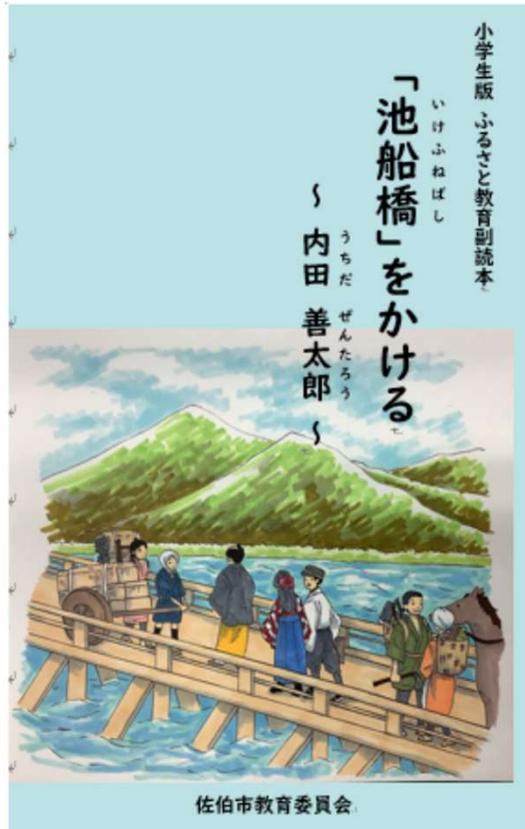
令和〇年度 5学年カリキュラム表 (例)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎	基礎的知識の習得											
教科	国語											
英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学
理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科
社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会
総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別	特別
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他

ではんもりもりプロジェクトー発見！お米の可能性ー (70時間)

豊かな教育環境の整備

○副読本を活用したふるさと教育の充実



渡町台小学校の実践



「地域のひと、もの、こと」をいかした「ふるさと教育」に取り組んでいます。
地域にでかけ、地域の人に話を聞いたり、仕事を体験したりしながら情報を集め、課題解決におけた学習活動を行っています。
「とまちの魅力再発見!~渡町台の素敵な人たちコレクション~」といったテーマのもと、渡町台校区で調査活動を行い、50周年記念イベント等で、地域の魅力について発表を行いました。

米水津中学校の実践

第18回キャリア教育優良学校
文部科学大臣表彰



地域の方や企業と連携して、地域の産業を学び、地域のよさを生かした商品開発や広報活動に取り組んでいます。

小川香料、小畑商店といった地元の企業を訪れ、実際に仕事を体験するとともに、干物を使ったレシピや干物に合う調味料を研究するなど商品開発に繋いでいきました。

佐伯市におけるふるさと教育

生活科及び総合的な学習の時間を要に、地域の特性を踏まえ、地域の「ひと・もの・こと」を活用しながら、学校を核とした地域の活性化を推進する取組をとおして、児童生徒にふるさとへの愛着や誇りを育み、夢や希望をもってふるさとの未来を創造する資質・能力をそなえた人材の育成をめざす。

【生活・総合に係る具体的な取組】

<地域とともにある学校>

(1) 13年間を見通したカリキュラムの策定

- 小学校、中学校の連携を意識したカリキュラムの策定
- 義務教育9年間の学びを踏まえた高等学校のカリキュラムの策定
- 『カリキュラム表』を活用した、教科横断的な視点等に立ったカリキュラム・マネジメントの実践

(2) 市全体の共通テーマに基づく取組

- 佐伯の歴史・文化・先人
- 副読本を活用したふるさと教育の充実
- 防災

(3) 一校一実践の取組

- 伝統芸能・伝統技術の継承
- 商品開発
- 地域の名所・旧跡案内（歴史と観光）
- 地場産業の研究 など

(4) 生活・総合研究指定校の指定

- 外部講師の招聘
- 公開研究発表会

【めざす人材】

- 郷土を愛し、誇りをもって自らの夢の実現に邁進する人材
- 地域の人々と支え合い、協働しながら佐伯市の未来を切り開く資質と能力をそなえた人材

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創造する力

幼・小・中・高における13年間の実践

地域の特質に応じた教育による
少子化への対応

13年間を見通した生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す
資質・能力系統表